

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		11 03 10	中期総合計画主要施策番号		5-09		担当課	部・課	建設部 道路管理課	
事業名		道路橋梁維持修繕事業(県単【道路管理】)				内線		3398		
						E-mail		michikanri@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	道路施設の老朽化、損耗及び破損に係る必要な修繕を行い、安全、快適、円滑な交通を確保するとともに、沿道の環境保全を図る。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・道路舗装、橋梁等の道路施設の損耗を防ぎ、安全で円滑な交通の確保が求められている。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・道路施設は凍上や経年の劣化による路面の破損、橋梁や側溝等の構造物の老朽化が進んでいる。施設の破損、老朽化による振動、騒音対策や、道路周辺の草刈等、日常的な維持管理の要望が強い。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・安全で円滑な交通の確保と沿道の環境保全に応えるため、日常的かつ定期的な維持管理を図る必要がある。								
		事業内容 ・道路施設の小規模修繕、草刈り、側溝修繕などの維持管理。 ・橋梁の補修や塗装に要する費用。 ・凍上により破損した舗装の修繕等。								
		実施期間	T8 ~		根拠法令等					
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
・道路施設の適切な維持管理 ・舗装補修を実施し、道路利用者の安全な通行を確保する。		優先度付けを行い、継続的に維持管理を行い、凍上で被害を受けた箇所について、継続的に早急な対応を行う。			事業の実施にあたっては、緊急対応を最優先に必要な対応を行ない、道路利用者の安全な交通を確保した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下			
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	4,991,637	6,563,121	4,484,700	国庫・県単 県単			
	決 算 額 (B)		千円	5,217,402	4,944,273		実施方法 直接			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	5,109,589	4,431,510	1,614,489	歳出節別内訳等 H20予算現額(最終予算額 + 繰越額) 6,581,310 千円			
	概 算 人件費	従事する職員数	人	75.00	75.00	75.00	(単位: 千円) 1箇所当り平均工事期間 1.0 年			
	概算人件費 (C)		千円							
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	5,217,402	4,944,273	4,484,700					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	維持補修工事件数		件	3,624	3,304	3,500				
	橋梁修繕数		橋	42	44	85				
	道路舗装延長		m	5,175	3,600	3,000				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・高度成長期に大量に建設された社会資本ストックの急激な老朽化への対応が必要となっている。 ・日常パトロールにより状況を把握しつつ住民からの指摘に対して早期対応に努めている。 ・道路法により管理主体は県とされている。 ・中長期的な視点に基づく維持管理の検討をすすめる。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
課題の総括		・日常、定期点検等により現状を的確に把握し、優先度付けを行なったうえ事業をより効率的に実施するとともに、住民からの要請に対しても早期の対応を図る必要がある。 ・緊急的な対応等については必要な対応を行なっているが、中長期的な視点に基づく計画的維持管理については対処が行届いていない状況であり、検討を進める必要がある。 ・安全で快適な通行を確保するためには舗装の維持管理は必要不可欠であり、今後も必要な箇所への予算措置に努めていく。								